

発 言 通 告 書

令和3年2月22日

松山市議会議長 若江 進 殿

松山市議会議員 河本英樹

次のとおり通告します。

発言順位	6	受領日時	2月 22日 午後 3時 35分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式	一括方式	発言時間	約 70 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・農業委員会会長	・選挙管理委員会委員長 ・監査委員	・公平委員会委員長 ・公営企業管理者	

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	介護事業所での感染症対策について	(1) 高齢者介護施設への予防対策の周知について また、感染者が出た場合を想定した対策をどのように行っているのか。 (2) 介護施設等のクラスターが発生しやすい現場での指導について、専門員を派遣し、現地現場にあった対処方法の指導をする考えはないか。
2	ノーリフティングケアの推進について	(1) 愛媛県ノーリフティングケア普及啓発モデル事業、介護ロボット導入支援事業、愛媛県社会福祉協議会で開催している講習会をどのように考えているのか。 (2) ノーリフティングケアの講習会を多く開催し、モデル事業や福祉用具の助成を本市独自で推進していく考えはないか。 また、今後ノーリフティングケアの推進や啓発をどのように行っていくのか。
3	高齢者・認知症対策について	(1) 高齢者をはじめとした交通弱者に対する支援について、どのような対応が必要と考えているのか。 (2) 講座を積極的に受講してもらえるよう民間企業への周知・啓発の推進は考えていないのか。 また、松山市認知症高齢者 SOS ネットワークの登録企業は何件あるのか。 さらに、民間企業を含めた地域で認知症高齢者を見守る体制づくりの考えはないか。

No.	件名	発言の要旨
4	医療機器を使用する在宅療養者 向けの非常用電源について	(1)災害時に停電が発生した場合、在宅での医療機器使用者に対し てどのような対応をするのか。
		(2)本市独自で人工呼吸器非常用電源等の助成をする考えはない か。
5	児童相談所の状況や設置について	(1)虐待疑いの通告があった場合の一般的な流れについて
		また、通告から安全確認及び援助方針の決定までに要する時間と、 通告対応後の家庭に対するサポートはどのように行われているのか。
		(2)市の子ども総合相談センター事務所と県の福祉総合支援センター は、それぞれ、子どもや保護者に対し、どのような役割を果たしている のか。
		また、通告や相談があった際の両者間における連携に課題はない か。
		(3)本市では児童相談所の設置についてどのように考えているのか。